

東北夢の桜街道

～復興への祈りを捧げる 桜の札所・八十八カ所巡り～

さと あじ しんじょう あじ もち
ふる里の味 新庄の味 「くじら餅」

四十五番・最上公園

江戸時代から「雛祭り」のご馳走として旧暦で桃の節句をお祝いする伝統銘菓



みちのく、山形を代表する伝統銘菓「くじら餅」は、江戸時代より、新庄・最上地方で、ひなまつりのごちそうとして各家庭で作られてきました。「くじら餅」という名称が初めて文献に見られるのが、今から350年前、17世紀末に遡ります。天和3年（1683）の料理書に、おやつ（点心）として「ういろう」と「くじら餅」の名前が載っています。当時の「くじら餅」は表面が黒く、その下に白い餅、という二色の層になっており、その見た目が、くじらの切り身に似ていたため、「くじら餅」の名前がついたのではないかと伝えられております。

販売価格	760円（H26年4月1日より）
販売形態	店舗での提供・販売、お土産・お持ち帰り可、通販あり
販売時期	通年
店舗・事業者名	有限会社 新庄の菓匠たかはし （ゆうげんがいしゃ しんじょうのかしょうたかはし）
店舗所在地	山形県新庄市住吉町 1-14（〒996-0022）
札所から店舗までの距離	1.2km（車で2分、または自転車で5分、または徒歩で15分）
駐車場	あり
店舗営業時間・定休日	8:00～19:00・元旦
店舗電話番号	0233-22-4080
店舗ホームページURL	http://www.kasho-takahashi.com/